SHARP

# デジタルオーディオプレーヤー

形名

# MP-A100
# MP-A200
# MP-A300

# 取扱説明書

**保証書付**（巻末）
(WITH WARRANTY CARD)

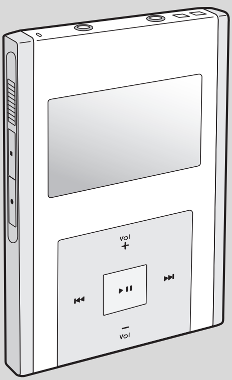
音楽

ボイスレコーダー

FM ラジオ

FM トランスミッター

設定




お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
**ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。**
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

| | |
|---|---|
| ⚠ **警告** | 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。 |
| ⚠ **注意** | 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。 |

**図記号の意味**

⚠：この記号は気をつける必要があることを表しています。

🚫：この記号はしてはいけないことを表しています。

❗：この記号はしなければならないことを表しています。

## 本製品について

### ⚠ 警告

❗ **万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってお買いあげの販売店に連絡する**
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

❗ **指定のACアダプターを使用する**
指定外のACアダプターを使用すると、火災・事故の原因になります。

🚫 **本体や端子に針金などを差し込まない**
火災・感電・事故・故障の原因になります。

**自動車を運転中に操作しない**
運転中の操作は大変危険ですので、絶対に行わないでください。

**安全のため、次の場所には取り付けない**

- エアバッグシステムの動作を妨げる場所
- 運転の妨げになる場所

## ⚠ 注意

**製品を分解・改造しない**
火災・感電・けがの原因になります。

**雨が当たる所や、風呂場・台所など水や液体がかかる所、湿気の多い所では使用しない**
火災・事故・故障の原因になります。

**油煙や湯気が当たる所では使用しない**
火災・事故・故障の原因になります。

**日の当たる自動車内、直射日光の当たる所、火や暖房器具のそばなど、高温(60℃以上)になる所に置かない**
火災・事故の原因になることや、変形・変色することがあります。

**ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂が入りやすい所で使用しない**
発火・故障の原因になることがあります。

**次のことをお守りください。内蔵されている充電池の発熱、発火、破裂の原因となることがあります。**

- 充電は必ず0 ～ 40 ℃の範囲で行ってください。
- 充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。
- 使用した後は、必ず本製品の電源を切ってください。

# ACアダプターの取り扱いについて

## ⚠ 警告

**本製品には、必ず付属のACアダプターEA-74を接続する**
EA-74以外のACアダプターを接続すると火災の原因になります。

**表示された電源電圧(交流100ボルト)以外で使用しない**
表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因になります。

**ACアダプターはコンセントに直接接続する**
タコ足配線は過熱し、火災の原因になります。

**ACアダプターを使うときは次のことを守る**
お守りいただかないと、火災や感電の原因になります。

- ぬれた手でAC アダプターを抜き差ししない
- ACアダプターを水や、ほかの液体につけたり、ぬらしたりしない
- ACアダプターおよび本製品の上やそばに、液体の入った容器を置かない
  倒れて水などがかかると、火災や感電の原因になります。
- お客様による改造や分解・修理は行わない

次ページに続く

前ページの続き

## ⚠ 警告

- ACアダプターに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
- ACアダプターに針金などの金属を差し込んだりしない
- ACアダプターを抜くとき、コードを引っ張らない
- コードを傷つけたり、加工したり、破損させたりしない
- コードに重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしない
- コードなどが傷ついたり破損しているACアダプターを使用しない

**ACアダプターを使用しないときは、コンセントおよび本製品から外しておく**

**万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常があるとき、または異物(金属片・水・液体)が製品に入ったときは、すぐにACアダプターをコンセントから抜き、電源を切ってお買いあげの販売店に連絡する**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

**雷が鳴りはじめたら、本製品の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く**

落雷により、感電・火災の恐れがあります。

## ⚠ 注意

**次のことを守って使用する**

火災・感電・故障の原因になることがありますので、次のことをお守りください。

- 周囲温度0～40℃、湿度30～80%の範囲で使用する
- 直射日光の当たる場所では使用しない
  また、炎天下の車内、火や暖房器具のそばなど、高温になる所に置かない
- ほこりの多い場所に置かない
- 重いものを載せたり、落下しやすい所に置かない
- 電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
- 布などでくるまない
- 市販の「電子式変圧器」は使用しない

## ヘッドホンの取り扱いについて

### ⚠ 警告

**事故を防ぐため、次のことを必ず守る**

- 自動車やバイク、自転車の運転中は、ヘッドホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切りや横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

### ⚠ 注意

**ヘッドホンで聞くときは音量の設定に気をつける**

思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

### ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

## 記憶内容保存のお願い

この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときは、お客様が記憶させた内容が変化・消失する場合があります。
録音したファイルなど重要なデータは、パソコンに必ずコピー(バックアップ)してください。(20、23、29ページ参照)

**ご注意** お客様が録音されたデータは、個人の使用の範囲を超えて利用されると著作権法に違反しますので、そのような行為は厳重にお控えください。

# もくじ

# 使用上のご注意

正しく安全にお使いいただくために次のことは必ずお守りください。

## ◆ 保管場所のご注意

**磁気にご注意**

本機に磁石・電気時計・磁石を使用したおもちゃなど、磁気をもっているものを近づけないでください。磁気の影響を受て、大切な記録が消えることがあります。

## ◆ 使用場所のご注意

本機は日本国内での使用を目的に設計されています。
海外ではご使用にならないよう、お願いいたします。

**高温や低温の場所では使用しない**

周囲の温度は0℃～40℃、湿度は30%～80%の範囲内でお使いください。

**電磁波の強い場所や機器の近くでは使用しない**

高圧線や携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くで録音すると雑音が入りますので使用しないでください。

**病院や飛行機の中では電源をお切りください**

病院や飛行機の中など、使用が制限または禁止されている場所では、電源をお切りください。
事故の原因になる恐れがあります。

## ◆ 屋外で使用する場合のご注意

**雨天での使用**

雨天・降雪中など、ぬれる恐れのある場所では使用しないでください。

**海辺での使用**

砂浜や砂地など、砂ぼこりの多い所に置いたり、使用したりしないでください。内部に砂などが入ると故障や発火の原因になります。

## ◆ 取り扱いのご注意

**持ち運ぶときは**

ハンドストラップを取り付け、ハンドストラップを持って振り回したり、強く引っ張ったりしないでください。
故障や破損の原因になります。

ズボンのポケットに入れたり、満員電車などで強く押されるような所に入れたりしないでください。
製品に強い力が加わり、変形や故障、破損の原因になります。

**取り扱いはていねいに**

落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因となります。
持ち運びや移動の際にもご注意ください。

**他の機器との接続について**

本機に接続して使用する機器の取扱説明書もよくお読みください。また、取扱説明書はいつでも見ることができる場所に必ず保存しておいてください。

本製品は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用した製品です。アンテナの種類や形状、設置環境(車の場合、車種およびアンテナが設置されている場所)、周囲環境(車の場合、走行環境を含む)、混信により、本製品から出力されたFM電波をFM受信機などが正常に受信できない状態になり、ノイズ、音のひずみ、音の途切れ、受信不能状態などが発生する場合があります。
FMトランスミッター機能は日本国内で使用されることを前提としています。
**海外でのご利用はその国の法律に抵触する場合がありますので、海外ではご利用されないようにお願いいたします。**
ヘッドホンのコードがアンテナを兼ねていますので必ず同梱のヘッドホンを接続してご使用ください。

## ◆ ご注意

- 本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を複製、編集などすることは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなります。また、本製品のFMトランスミッター機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することも、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害するおそれがあります。上記のような利用方法は、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

## ◆ 商標について

- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
- Intel、Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI )の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品本体をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
- ACアダプターとラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
- 使用されるケーブルは指定のものを使用してください。

# はじめてご使用になるときは

## まず、充電をする

本機を使用するときは、内蔵の充電池を最初に充電する必要があります。
充電時間は約4時間です。

### ◆ ACアダプターで充電する

- ACアダプターは付属のEA-74をお使いください。
- 2～3ページの「ACアダプターの取り扱いについて」もよくお読みください。

**1 本機の電源が入っている場合は、電源を切ります。**

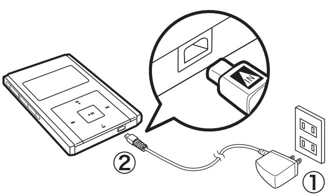
本体右側の MODE キーを約3秒間押して電源を切ります。

**2 ACアダプターをコンセントに差し込みます。（①）**

**3 ACアダプターのプラグを本機に接続します。（②）**

<u>ACアダプターのプラグの「IN」と書いてある面を上に向けて差し込みます。</u>

画面右下に が表示(充電中画面)され、充電が始まります。




充電が開始されないときは、ACアダプターが正しく接続されているか確認してください。

**4 満充電になり、充電が終了すると が に変わります。**

通常、約4時間で満充電されますが、使用温度や使用状況により変動します。

---

**ご注意** ACアダプターを外すときは、必ず本機の電源を切り（充電中の画面にし）、本機からプラグを抜いた後、コンセント側を抜いてください。正しく抜かないと、バックライトだけが点灯して何も表示されないなど、正常に動作しないことがあります。バックライトだけが点灯しているときは MODE キーで電源の入切を行えば正常に戻ります。

---

- **充電池について**
  本体内蔵の充電池は、満充電後まったく使用しない場合でも自然放電により電圧が低下します。長期間使用しないときは、定期的に（おおむね2ヵ月に1回程度）充電することをお勧めします。
- パソコンに接続して充電することもできます。（☞ 38ページ）

### ◆ 充電池の残量の目安

充電池の残量は、画面右下に表示される電池マークを目安にしてください。

: 良好です。

: すこし少なくなりました。

: 少なくなりました。充電することをお勧めします。

: とても少なくなりました。速やかに充電してください。

> **ACアダプターで使用する**
> ACアダプターを正しく接続し、MODE キーを押して電源を入れれば、充電しながら本機を使用することができます。
> **注：** 充電状態によっては、すぐ使用できないことがあります。
> このときは、10分程度待ってから、もう一度、MODE キーを押してください。

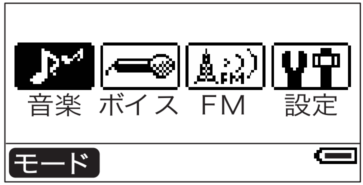
**ご注意**
- ACアダプターを接続して音楽プレーヤー/FMラジオ/ボイスレコーダーを使用すると、電源の状態によっては再生/録音時にノイズが入る場合があります。
- 録音中にACアダプターを抜くと、録音中のデータが壊れたり記録されないことがあります。

## 電源の入れかた、切りかた

### ◆ 電源を入れる

**1 電源が切れているとき、MODE キーを約1秒間押します。**

電源が入り、モード選択画面が表示されます。




### ◆ 電源を切る

**1 電源が入っているとき、MODE キーを約3秒間押します。**

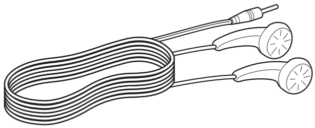
電源が切れます。

**ご注意**
- 電源を切るときに MODE キーを長い間押し続けると、電源が一度切れたあとに再び電源が入る場合があります。
- ACアダプター接続しているときは MODE キーで電源を切るといったん画面が消えた後、充電中の画面が表示されます。

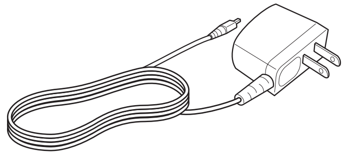
# 付属品を確認する

本製品には次の付属品がありますので、ご確認ください。

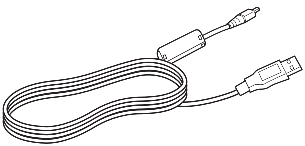
ヘッドホン



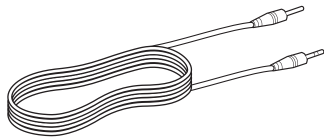
ACアダプター（EA-74）



USB対応ケーブル



Line-inケーブル



プラグ変換ケーブル
（3.5 φ－2.5 φ）



CD-ROM（Microsoft® Windows® 98 Second Edition用USB対応ドライバ、歌詞編集ソフト）

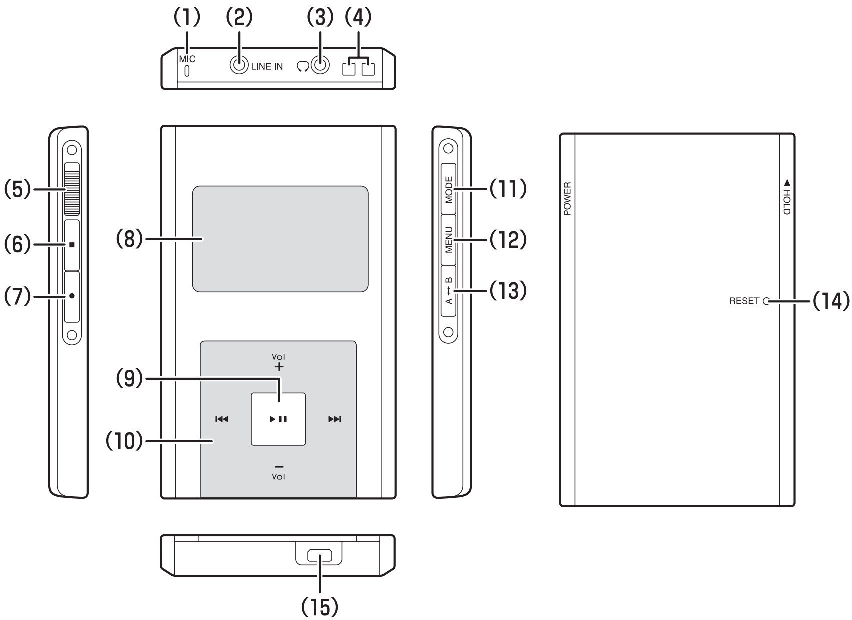


コア

ソフトケース

取扱説明書（保証書付）

# 各部のなまえと、おもなはたらき




**(1)　内蔵マイク**
ボイスレコーダーで音声を録音するとき使用するマイクです。

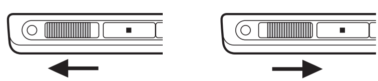
**(2)　LINE IN端子**
CDプレーヤーなどの外部音源や外部マイクで録音するときに、端子を接続します。

**(3)　ヘッドホン端子**
付属のヘッドホンを接続します。
ヘッドホンは音楽などを聞く以外に、ＦＭラジオやＦＭトランスミッター機能のアンテナになります。これらを使うときは、プラグを奥までしっかりと差し込んでください。

**(4)　ストラップ穴**
市販のハンドストラップを取り付けるときに使用します。

**(5)　ホールドキー(スライド式)**
ホールド側にすると本機のキー操作を受け付けません。誤ってキーが押され動作することを防ぎます。解除するときは解除側にしてください。

**ホールド側**　　　**解除側**



**(6)　停止キー（■）**

再生または録音を停止します。

**(7)　録音キー（●）**

録音を開始します。

**(8)　表示部**

**(9)　再生/一時停止キー（▶II）**

- 音楽などの再生または一時停止をします。
- メニュー画面やリスト画面など、項目を選択する画面で押すと選ばれている項目を決定／実行します。

**(10) カーソルキー**

Vol + キー：

- 再生中やFMラジオ受信中に、音量を大きくします。
- メニュー画面やリスト画面で、上段の項目に移動します。

− Vol キー：

- 再生中やFMラジオ受信中に、音量を小さくします。
- メニュー画面やリスト画面で、下段の項目に移動します。

音量は0～30の範囲で調整することができます。

I◀◀ キー：

- 再生中に押すと曲の先頭に戻ります。曲の先頭で押すと、前の曲の先頭に移動します。
押したままにすると再生中の音楽を巻き戻します。
- メニュー画面やリスト画面で押すと、1つ前のメニュー画面などに戻ります。

▶▶I キー：

- 再生中に押すと次の曲の先頭に移動します。
押したままにすると再生中の音楽を早送りします。
- メニュー画面やリスト画面で押すと、選ばれている項目が決定されます。

**(11) MODEキー（POWERキー）（MODE）**

- 電源を入れるとき約1秒間、電源を切るとき約3秒間押します。
- モード選択画面を表示させるとき押します。

**(12) MENUキー（MENU）**

設定以外のモードで、各機能の設定を行うメニューを表示させるときに押します。

**(13) A↔Bキー（A↔B）**

- リピート（くり返し再生）区間の設定・解除をするときに使います。
- FMラジオ／ボイスレコーダーモードで録音リストを表示させるときに使います。

**(14) RESETスイッチ**

正常に表示しない、正しく操作できないなどの異常が発生したときに押します。

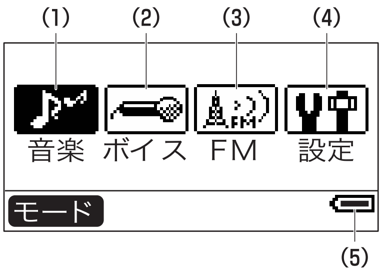
**(15) AC アダプター／ USB 対応ケーブル接続端子**

- 本機を充電するときにACアダプターのプラグを接続します。
- パソコンと接続するときに、付属のUSB対応ケーブルを接続します。

# 表示画面の見かた

## ◆ モード選択画面

MODE を押すと表示されます。




▶▶|、|◀◀ でモードアイコン(絵)を選び ▶II を押すと、各モードの画面になります。

(1) **音楽モード**：パソコンから取り込んだ音楽データなどを再生したり、LINE IN 端子から音楽などを録音したりするモードです。

(2) **ボイスレコーダーモード**：ボイスレコーダーとして、音声を録音したり再生したりするモードです。

(3) **FMラジオモード**：FMラジオとして、FM放送を聴いたり、録音したりするモードです。

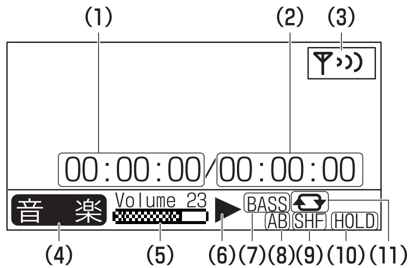
(4) **設定モード**：本製品の全体に関係する設定を行うモードです。

(5) **電池マーク**：充電池の残量の目安を示すマークです(☞ 9ページ)

**表示画面について**

本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

## ◆ 再生画面など




音楽などを再生をするときに表示される画面です(ただし、一部省略しています)。

**(1) 現時点の再生・録音時間**

**(2) 全体の再生・録音残り時間**

**(3) FMトランスミッター送信状態**

**(4) モード表示**

音 楽　ボイス　FM

**(5) 音量**

**(6) 動作状態**

▶ ：再生　● ：録音
■ ：停止　II ：一時停止
▶▶ ：早送り　◀◀ ：巻戻し

**(7) イコライザー表示**

NOR　：ノーマル　CLAS：クラシック
JAZZ：ジャズ　POP　：ポップ
ROCK：ロック　BASS：バス

**(8) A B区間リピート再生状態**

**(9) シャッフル再生状態**

**(10) ホールド状態**

**(11) リピート再生状態**

：1曲リピート
：全曲リピート

# 音楽プレーヤーを使う

## 曲を聞く

- 音楽を聞く場合、**先に音楽データをパソコンから取り込んだり、他の機器から録音したりしておく必要があります。**
  パソコンと接続する(37ページ)、パソコンからデータを転送する(38～39ページ)、ダイレクト(LINE-IN)録音する(18ページ)をご覧のうえ、音楽データを取り込んでください。
  本製品は、**WMA形式、MP3形式の音楽データ**を再生することができます。

収録されている曲は下記のリストで分類され、再生することができます。

**リジューム再生**：以前、再生していた曲を先頭から再生します。

> パソコンから音楽データを取り込んだり、録音やお気に入り編集をした直後などでは、以前再生した曲の情報が消えていますので、「リジューム再生」は選択項目に表示されません。

**お気に入りリスト**：事前に登録したお気に入りの曲を再生します。(お気に入りリストへの登録・編集：☞17ページ)

**アルバムリスト**：アルバム名を選んで曲を再生します。

**アーティストリスト**：アーティスト名を選んで曲を再生します。

**曲リスト**：曲名を選んで再生します。

**録音リスト**：音楽モードでダイレクト(LINE-IN)録音した音楽データが収録されているリストです。(録音：☞ 18ページ)

### ◆曲を聞くときの操作

> ヘッドホンをヘッドホン端子に接続してください。

**1 [MODE] を押し、モード選択画面で、「音楽」を選択します( ♪ を選んで ▶II を押す)。**

左記の項目を選択するリスト選択画面が表示されます。

**2 リストを選択します。**

[Vol +] [– Vol] で目的のリストを選び、▶II を押して選択します。

- 「リジューム再生」を選択すると、以前再生していた曲が再生されます。

**3 表示されるリストの項目を選択していき、聞きたい曲を選択します。**

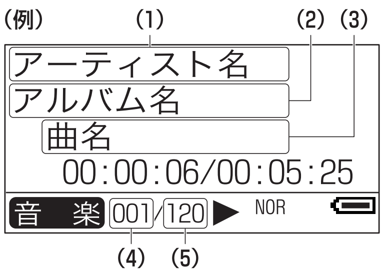
選択した曲から、選んだリストに含まれる曲が再生されます。

> - リストで選んだアルバム名や曲名などが長い場合は、自動的にスクロールしながら表示されます。(長すぎる場合は途中までを表示します。)
> - アルバム名やアーティスト名などの曲情報(IDタグ情報など)が付加されていない曲は、それぞれのリストの**「その他」の項目**に収録されています。
>   曲情報について　(☞15ページ)

**ご注意** 各リストの表示はアルバムの曲順ではなく、曲名順になります。アルバムの曲順に再生したいときは､お気に入り編集を参照ください。(☞17ページ)

## ◆音楽再生時の画面

音楽再生時は次の例のような画面が表示されます。




(**1**) アーティスト名※
(**2**) アルバム名※
(**3**) 曲名※
(**4**) 再生中の曲の順番
(**5**) 全体の曲数

※ Microsoft® Windows Media® Playerで入力または、インターネットでダウンロードした音楽データに情報が入っているときに表示されます。(詳しくは市販の解説書を参照してください)
情報がないときは、曲名部分にファイル名が表示されます。
アーティスト名、アルバム名または曲名が長い場合は、自動的にスクロールして表示されます。(長すぎる場合は途中まで表示します。)

## ◆音楽プレーヤーでの操作

音楽プレーヤーでよく使う操作を示します。

**●再生停止**

[ ■ ] を押すと音楽の再生を停止し、曲名などのリスト画面に戻ります。

**●一時停止**

音楽の再生を一時停止するときは [▶II] を押します。

再生を再開するときも [▶II] を押します。

**●早送り**

音楽再生中に [▶▶I] を押したままにすると曲を早送りします。離すと、その時点から曲を再生します。

**●巻き戻し**

音楽再生中に [I◀◀] を押したままにすると曲を巻き戻します。離すと、その時点から曲を再生します。

**●曲の頭出し**

音楽再生中に [I◀◀] を押すと、その曲の先頭から再生します。

**●前曲戻り(前曲頭出し)**

曲の先頭付近を再生中に [I◀◀] を押すと、前の曲の先頭から再生します。

**●次曲飛ばし(次曲頭出し)**

音楽再生中に [▶▶I] を押すと、次の曲の先頭から再生します。

**●音量を上げる・下げる**

音量を上げるときは [Vol +] を、下げるときは [− Vol] を押します。

# その他の機能や設定

音楽プレーヤーをより楽しく利用していただくために、次の機能を用意しています。

●**EQ：**

音楽再生時の音響効果を次のパターンから選ぶことができます。

| | | |
|---|---|---|
| ノーマル | ジャズ | ロック |
| クラシック | ポップ | バス |

●**リピート(繰り返し再生)：**

繰り返し再生の設定を行います。

1曲　(再生した1曲をリピート)
全曲　(アルバムなど、選択したリストに含まれる全曲リピート)
オフ　(リピートオフ)

●**シャッフル：**

曲が再生される順番を混ぜ合わせます。

オン　(アルバムなど、選択したリストに含まれる曲をランダムに再生)
オフ　(アルバムなど、選択したリストに含まれる曲を順番に再生)

●**お気に入り編集：**

お気に入りリストへの追加(登録)や削除(登録解除)を行います。(☞ 17ページ)

- お気に入りリストの曲名リストや再生画面で MENU を押したときに選択できます。

●**歌詞表示：**

曲に歌詞データが付加されているとき、その歌詞を表示する(☞ 41ページ)かどうか設定します。

オン　(歌詞表示あり)
オフ　(歌詞表示なし)

●**録音モード：**

LINE IN端子に接続された外部機器から録音をするとき使用します。(☞ 18ページ)

●**FMトランスミッター：**

FM電波を送信して、FMラジオで音楽を聞くことができるFMトランスミッター機能(☞ 31ページ)を働かせるかどうかを設定します。

オン　(機能を働かせる)
オフ　(機能を働かせない)

●**削除：**

音楽ファイルを削除します。(☞ 20ページ)

## ◆EQ(イコライザー)の設定

**1 音楽モードで曲のリスト画面や再生画面にし、MENU を押します。**

左記の項目を選択する**メニュー画面**が表示されます。

**2 「EQ」を選択します。**

音響効果パターン選択画面が表示されます。

- 設定されている音響効果パターンの左にチェックマーク(✓)がついています。

**3 音響効果パターンを選択します。**

リスト画面などに戻ります。

## ◆リピート、シャッフル、歌詞表示の設定

**1** **左記の「EQの設定」と同様の操作で項目を選択して設定します。**

**歌詞表示について**

- 歌詞を表示するためには、歌詞を切り替える時間(タイミング情報)が設定されている必要があります。 歌詞やタイミング情報は、付属の歌詞編集ソフト( パソコン用ソフト: ☞ 41ページ )で入れることができます。
- 正しく設定されていても音楽の再生と歌詞の表示がずれる場合があります。
- 歌詞を表示して音楽を再生しているときは、その曲が終わるまでバックライトが点灯します。

**AB区間リピート再生**

再生中の曲や録音データの途中に、始点と終点を設定し、その間を繰り返し再生することができます。

**曲や録音データを再生中に、始点にしたい時点で A↔B を押します。**

**その後、終点にしたい時点でもう一度 A↔B を押します。**

区間が設定され、その間が繰り返し再生されます。

- AB区間リピート再生(設定)を解除するときは A↔B を押します。
- AB区間リピート再生は、ボイスレコーダーやFMラジオモードで録音データを再生するときにも使えます。

## ◆お気に入り編集

お気に入りリストに、曲を登録・追加したり、削除(解除)したりすることができます。

**お気に入りリスト**は、本製品に収録されている曲(録音リストに収録されている曲を除く)の中から、好きな曲、よく聞く曲などを登録しておき、再生時に選択しやすくするリストです。
お気に入りリストに追加した順にリストが作成されるため、アルバムの再生曲順を設定しなおす場合などにも利用できます。

### ◎お気に入りリストに曲を追加する

**1** **音楽モードのリスト選択画面で「お気に入りリスト」を選択します。**

お気に入りリスト(曲名リスト)画面が表示されます。

- 曲が登録されていない場合は「リストがありません。・・・」というメッセージが表示されます。このときは ▶II を押し、手順3へ進んでください。

**2** **MENU を押します。**

「お気に入り編集/リストから削除」選択画面が表示されます。

- 音楽再生時の画面で MENU を押し、「お気に入り編集」を選択しても「お気に入り編集/リストから削除」選択画面が表示されます。

**3** **「お気に入り編集」を選択します。**

追加曲名選択画面が表示されます。

**4** **リストに追加する曲名を選択します。**

- 追加（登録）する曲を選び、[▶II]を押すと、その曲の先頭（左側）の□が■に変わって選択状態になります。
  複数の曲を選択する場合は、同様の操作を繰り返します。
- 「すべての曲」を選んで[▶II]を押すと、すべての曲が選択状態になります。
- 選択されている曲を解除するときは、解除したい曲を選んで[▶II]を押します。■が□に戻ります。

**お気に入りリストには、手順4で選択した順番に曲名が表示されます。**

**5 追加を終了するときは[I◀◀]を何回か押して前の画面に戻ります。**

**ご注意** 本機をパソコンに接続し、取り外すと、お気に入りリストの設定内容はすべて消去されます。

### ◎お気に入りリストの曲を削除する

**1 お気に入りリスト（曲名リスト）で、削除したい曲を選びます。**

**2 [MENU]を押し、「リストから削除」を選択します。**

削除選択画面が表示されます。

**3 「削除」を選択し、表示される削除確認画面で「はい」を選択します。**

曲が削除されて、お気に入りリスト（曲名リスト）画面に戻ります。

**すべての曲を削除する場合は、上記手順3で「すべて削除」を選択してください。「キャンセル」を選択すると削除が中止されます。**

# ダイレクト（LINE IN）録音する

CDプレーヤーなどの外部機器（音源）から、LINE IN端子を通して音楽などを録音することができます。

## ◆録音の準備

**外部機器（音源）と接続する**

付属のLine-inケーブルを使って、本機と外部機器を接続します。
本機のLINE IN端子に2.5φのプラグ（小さい方）を接続し、もう一方のプラグ（3.5φ）を外部機器の**LINE OUT**、**外部出力**、**出力**、**ヘッドホン**などの端子に接続してください。

- 外部機器の端子がピンプラグの場合は、市販の「抵抗入りミニジャック⇔ピンプラグ」ケーブルを使用ください。
- 外部機器の端子がミニプラグの場合は、市販の「ミニプラグ⇔ミニプラグ」ケーブルを使用ください。
- 外部機器の端子が標準端子の場合は、市販の「抵抗入り標準プラグ⇔ミニプラグ」ケーブルを使用ください。

**試し録音と録音レベルの設定をする**

大切な録音を行う前に、試し録音をして、録音ができているか、録音レベルが適正か確認・設定を行ってください。
**録音レベルが適正に設定されていないと、録音が小さすぎたり、大きすぎて音がわれたり、ひずむことがあります。**
また、ケーブルのプラグが正しく接続されていないと、雑音が入ったり音が途切れたりします。

録音レベルを調整しても、適正な録音ができないときは、ヘッドホン端子など、他の出力端子を使用し録音してみてください。

**音量の調節**

外部機器にヘッドホンを接続して音を聞き、音の大きさをちょうどよいか、少し小さめに調節します。

**接続方法**

付属のLine-in ケーブルで、本機のLINE-IN端子と外部機器のヘッドホン端子を接続してください。

## ◆録音をする

**1 音楽モードのリスト選択画面などで MENU を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**2 「録音モード」を選択します。**

録音モードの待機画面が表示されます。

**3 ● を押します。**

録音がスタートします。

**4 外部機器で音楽を再生させます。**

- 録音の一時停止／再開は ▶II で行います。
- 録音を停止するときは ■ を押します。

> **●録音した音楽は、音楽モードの録音リストの中から再生することができます。**
> **●録音された音楽は「AU001.MP3、AU002.MP3…」と順番にファイル名が付けられて保存されます。**
> **●周囲の環境により雑音が入ることがあります**

## ◆録音レベルを設定する

録音するときの録音レベル(音の大きさ)を「高」「中」「低」の3段階で切り替えることができます。

**1 録音モードの待機画面で MENU を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

**2 「録音レベル」を選択します。**

録音レベル選択画面が表示されます。

**3 録音レベル(高、中、低)を選択します。**

録音モードの待機画面に戻ります。

## ◆録音音質を設定する

録音するときの音質を「高」「中」「低」の3段階で切り替えることができます。
高音質に設定すると、音は良くなりますが録音できる時間が短くなります。

**1 録音モードの待機画面で MENU を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

**2 「録音音質」を選択します。**

録音音質選択画面が表示されます。

**3 録音音質(高、中、低)を選択します。**

録音モードの待機画面に戻ります。

> **録音時の形式、音質は次のようになります。**
> 録音形式：MP3
> 音質「高」：128kbps
> 音質「中」：112kbps
> 音質「低」：　96kbps

### ◆パソコンへ録音データをバックアップする

本機内の録音データをパソコンにバックアップ(保存)するときは、本機をパソコンに接続し(☞38ページ)、「リムーバブルディスク」内の「LINE-IN」フォルダからデータをパソコン側へコピーしてください。

**パソコンへコピーしたファイルの日付けは、全て「2006/1/1 0:00」と表示されます。**

**参　考**

- 外部機器のヘッドホン端子を使用して録音する場合、外部機器から音が聞こえません。録音の進み具合を確認する場合は本機のヘッドホン端子にヘッドホンを接続し、録音中の音を聞いて確認できます。
  なお、このとき外部機器のボリュームを変えないでください。録音される音量が変わり、音が大きくなったり小さくなったり、ひずんだりします。
  録音中の音を本機のヘッドホンで聞く場合、本機で音量を調整してください。また、録音中にヘッドホンで聞こえる音量は、録音される音量とは異なります。録音音量を確認するときは、録音した音楽を再生して確認してください。
- 複数の曲を録音する場合に、曲を連続して録音すると1つのファイルになります。この場合、曲の頭出しなどができなくなりますので、曲の頭出しができるようにしたい場合は、1曲ずつ別々に録音して、別ファイルになるようにしてください。

## 音楽ファイルを削除する

収録されている音楽ファイルを削除します。削除する単位は、1曲ごと、アルバムごと、アーティスト名ごと、および、すべての音楽ファイルです。

**ご注意**
- 一度削除した音楽ファイルを復元することはできませんのでご注意ください。

**1** **各リスト画面で、削除したい曲名、アルバム、アーティストを選びます。**

**2** **[MENU]を押し、「削除」を選択します。**
削除選択画面が表示されます。

**3** **「削除」を選択します。**
選んだ曲やアルバム、アーティストの削除確認画面が表示されます。

**4** **「はい」を選択します。**
削除が行われ、リスト作成が行われます。その後、リスト画面に戻ります。

- **すべての曲を削除する場合は、上記手順3で「すべて削除」を選択してください。**
- **上記手順3で「キャンセル」を選択すると、削除が中止されます。**
- **音楽再生画面で削除の操作を行った場合は、上記手順3の操作はありません。**
- **削除後、内部データベースの更新に、数分かかることがあります。このときはリスト作成中の画面が表示されるので、しばらくお待ちください。**

# ボイスレコーダーを使う

## 録音をする

ボイスレコーダーとして、マイクを通じて音声を録音することができます。

### ◆録音の準備

**使用マイクの選択**

本機は、本体に内蔵しているマイク(内蔵マイク)を使って録音することができるほか、市販の外部マイクを使用することができます。
お買いあげ時は内蔵マイクを使用する設定になっていますが、外部マイクをご利用になる場合は、23ページの方法で使用マイクを切り替えてご利用ください。
外部マイクの使用については、25ページを参照ください。

**試し録音と録音レベルなどの設定をする**

大切な録音を行う前に、試し録音をして、録音音質、録音レベルが適正か確認・設定を行ってください。
音源からの距離や音の大きさに合わせて、録音レベルが適正に設定されていないと、録音が小さすぎたり、大きすぎて音がひずむことがあります。

### ◆録音の操作

**1** **[MODE] を押し、モード選択画面で「ボイス」を選択します( [マイク] を選んで [▶II] を押す)。**

ボイスレコーダーの**待機画面**が表示されます。

**2** **[ ● ] を押します。**

録音がスタートし、録音中画面になります。

- 録音の一時停止/再開は [▶II] で行います。

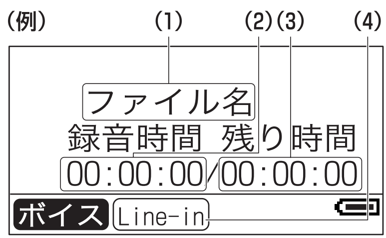
**3** **録音を終了するときは [ ■ ] を押します。**

音声データのリスト画面になります。

- **録音されたデータは「V001.MP3、V002.MP3…」と順番にファイル名が付けられて保存されます。**
- **周囲の環境により雑音が入ることがあります。**

### ◆録音画面の見かた

ボイスレコーダーの録音時は次のような画面が表示されます。




(1) ファイル名　　(2) 録音時間
(3) 録音可能残り時間
(4) 録音方法をLINE-IN端子に設定状態

## ◆ボイスレコーダーでの操作

ボイスレコーダーでよく使う操作を示します。

**●停止(録音・再生)**

[ ■ ] を押すと音声の録音や再生を停止します。

**●一時停止**

音声の録音や再生を一時停止するときは [▶II] を押します。

再開するときも [▶II] を押します。

**●音量を上げる・下げる**

音量を上げるときは [Vol ＋] を、下げるときは [－ Vol] を押します。

## ◆録音レベルを設定する

録音するときの録音レベル(音の大きさ)を「高」「中」「低」の3段階で切り替えることができます。

**1 ボイスレコーダーの待機画面で [MENU] を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

**2 「録音レベル」を選択します。**

録音レベル選択画面が表示されます。

**3 録音レベル(高、中、低)を選択します。**

ボイスレコーダーの待機画面に戻ります。

## ◆録音音質を設定する

録音するときの音質を「高」「中」「低」の3段階で切り替えることができます。

高音質に設定すると、音は良くなりますが録音できる時間が短くなります。

**1 ボイスレコーダーの待機画面で [MENU] を押します。**

録音設定選択画面が表示されます。

**2 「録音音質」を選択します。**

録音音質選択画面が表示されます。

**3 録音音質(高、中、低)を選択します。**

ボイスレコーダーの待機画面に戻ります。

録音時の形式、音質は次のようになります。

**録音形式**：MP3
**音質「高」**：128kbps
**音質「中」**：112kbps
**音質「低」**：　96kbps

**参　考**

録音中にヘッドホンで聞こえる音量は、録音される音量とは異なります。録音音量を確認するときは、録音した音楽を再生して確認してください。

### ◆録音方法(使用マイク)を設定する

録音に内蔵マイクを使うか、外部マイクを使うか設定します。(「外部マイクの使用について」:☞25ページ)

**1** **ボイスレコーダーの待機画面で MENU を押します。**
録音設定選択画面が表示されます。

**2** **「録音方法」を選択します。**
マイク選択画面が表示されます。

**3** **録音方法(内部マイク、外部マイク)を選択します。**
ボイスレコーダーの待機画面に戻ります。

> **内蔵マイク**：本機上部の内蔵マイクから音声を録音します。
> **外部マイク**：LINE IN端子に接続されたマイク(市販品)から音声を録音します。

### ◆パソコンへ音声ファイルをバックアップする

本機内の音声データをパソコンにバックアップ(保存)するときは、本機をパソコンに接続し(☞38ページ)、「リムーバブルディスク」内の「VOICE」フォルダから、データをパソコン側へコピーしてください。

> パソコンへコピーしたファイルの日付けは、すべて「2006/1/1 0:00」と表示されます。

## 音声ファイルを再生する

録音した音声を再生します。

> ヘッドホンをヘッドホン端子に接続してください。

### ◆ファイル名を選んで再生させる

**1** **モード選択画面で「ボイス」を選択します。**
ボイスレコーダーの**待機画面**が表示されます。

**2** **A↔B を押します。**
音声ファイルのリスト画面になります。

**3** **再生したい音声ファイルを選択します。**
選択した音声ファイルが再生されます。

> **録音を停止すると**音声ファイルのリスト画面になりますので、音声ファイルを選択すれば再生させることができます。

### ◆以前再生していた音声から再生させる

**1** **上記手順2の音声ファイルのリスト画面で MENU を押します。**
メニュー**画面**が表示されます。

**2** **「リジューム再生」を選択します。**
以前再生していた音声が再生されます。

# その他の機能や設定

ボイスレコーダーを利用していただくために、次の機能を用意しています。

● **EQ：**

再生時の音響効果を次のパターンから選ぶことができます。

ノーマル　ジャズ　ロック
クラシック　ポップ　バス

● **リピート（繰り返し再生）：**

繰り返し再生の設定を行います。

1曲　（再生した音声ファイルを繰り返し再生）
オフ　（リピートオフ）

● **FMトランスミッター：**

FM電波を送信して、FMラジオで音声を聞くことができるFMトランスミッター機能(☞ 31ページ)を働かせるかどうかを設定します。

● **削除：**

音声ファイルを削除します。(☞ 25ページ)

## ◆EQの設定

**1** **音声ファイルのリスト画面や再生画面にし、MENU を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**2** **「EQ」を選択します。**

音響効果パターン選択画面が表示されます。

- 設定されている音響効果パターンの左にチェックマーク(✓)がついています。

**3** **音響効果パターンを選択します。**

リスト画面などに戻ります。

## ◆リピートの設定

**1** **左記の「EQの設定」と同様の操作で「リピート」を選択して設定します。**

**1曲：** 再生させた音声ファイルを、停止させるまで繰り返し再生します。

**オフ：** リピート機能を解除します。

## 音声ファイルを削除する

収録されている音声ファイルを削除します。削除する単位は、1件ごと、すべての音声ファイルです。

**ご注意** 一度削除した音声ファイルを復元することはできませんのでご注意ください。

**1** **音声ファイルのリスト画面で、削除したいファイルを選びます。**

**2** **MENUを押し、「削除」を選択します。**

削除選択画面が表示されます。

**3** **「削除」を選択します。**

選んだファイルの削除確認画面が表示されます。

**4** **「はい」を選択します。**

削除が行われ、リスト作成が行われます。その後、リスト画面に戻ります。

- すべての音声ファイルを削除する場合は、上記手順3で「すべて削除」を選択してください。
- 上記手順3で「キャンセル」を選択すると、削除が中止されます。
- 音声ファイル再生中に削除の操作を行った場合は、上記手順3の操作はありません。

## 外部マイクの使用について

市販の外部マイクを利用して録音を行う場合は、次のことにご留意ください。

**使用できるマイク**

電池内蔵式外部マイクをご使用ください。プラグインパワー方式のマイクは使用できません。

**接　続**

外部マイクのプラグを本機のLINE IN端子に接続してください。
外部マイクのプラグ径が3.5φ の場合は付属のプラグ変換ケーブルをご使用ください。

**設　定**

外部マイクで録音する場合は、録音方法を「外部マイク」に設定してください。(☞ 23ページ)

**その他**

- 外部マイクを使用した場合は、内蔵マイクで録音した場合にくらべて音声が小さくなります。
  外部マイクを使用して音声を大きくしたい場合は、電池内蔵式のアンプ内蔵式外部マイクをご使用ください。
  事前に試し録音をし、必要に応じて録音レベルや録音音質を設定してください。
- 外部マイクを音源に近づけすぎると、音が歪む場合があります。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- ステレオマイクを使用した場合でもモノラル録音になります。

# FMラジオを使う

## FM放送を聞く

本機はFMラジオを搭載しており、FM放送を聞くことや録音することができます。

- FMラジオを受信するときは、同梱の**ヘッドホンのコードがアンテナの役割をします**ので、ヘッドホンを取り付け、コードを伸ばした状態でご使用ください。
  受信状態が悪い場合は、プラグの差しこみ具合を確認のうえ、コードを伸ばす方向を変えてみてください。
- ACアダプターを接続した状態で受信した場合、雑音が入ることがあります。

### ◆FMの受信操作

**1 [MODE] を押し、モード選択画面で「FM」を選択します（[FM] を選んで [▶II] を押す）。**

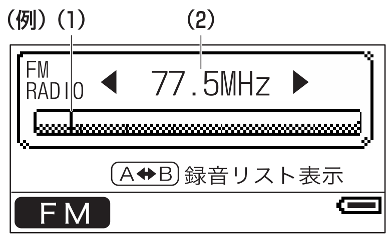
FM受信画面が表示されます。

**2 [▶▶I] または [I◀◀] を押して選局します。**

- [▶▶I] を押すと受信周波数が上がり、[I◀◀] を押すと受信周波数が下がります。
- [▶▶I] または [I◀◀] を1秒以上押すと、自動選局を開始し、受信できる電波(放送局)を探します。
  電波が見つかれば停止して受信します。別の局を探すときは同様に操作します。
  自動選曲を中止するときは [▶II] を押します。
- 電波が弱く、自動選局で希望の放送局が見つからないときは、局の周波数の近くまで自動で送って [▶II] で止め、[▶▶I] や [I◀◀] を小きざみに押して、希望する放送を探してください。

### ◆FM受信画面の見かた

FMラジオの受信時は次の例のような画面が表示されます。




（1）チューニング(選局)バー
（2）受信中の周波数

### ◆FMラジオでの操作

FMラジオでよく使う操作を示します。

●**選曲(チューニング)**
[▶▶I] **または、**[I◀◀] を押して選曲します。

●**録音開始**
FM受信画面で [●] を押すと録音を開始します。

**●停止（録音・再生）**

［■］を押すと録音や再生を停止します。

**●一時停止**

録音や再生を一時停止するときは［▶II］を押します。

再開するときも［▶II］を押します。

**●音量を上げる・下げる**

音量を上げるときは［Vol +］を、下げるときは［− Vol］を押します。

## ◆ステレオ受信／モノラル受信を切り替える

放送がFMステレオ放送のとき、これをステレオ受信するか、モノラル受信するか設定することができます。

ステレオ受信でノイズが多く聞きにくい場合には、モノラル受信にすればノイズが低減されて聞きやすくなります。

**1 FM受信画面で［MENU］を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**2 「ステレオ」を選択します。**

ステレオ／モノラル選択画面が表示されます。

**3 「ステレオ」または「モノラル」を選択します。**

FM受信画面に戻ります。

## ◆放送局を登録する

よく聞く放送局を登録しておけば、選局しやすくなります。

### ◎自動で登録する

自動的に選局して、受信できる放送局をすべて登録します。

**1 FM受信画面で［MENU］を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**2 「オートプリセット」を選択します。**

実行確認画面が表示されます。

**3 「はい」を選択します。**

選局・登録を実行後、プリセット呼出画面に登録された局の周波数が表示されます。

> 電波が弱い放送局は登録できないことがあります。また、雑音などにより放送局以外が登録されることがあります。そのときは手動で登録しなおしてください。

### ◎手動で登録する

1局ずつ選局して登録します。

**1 「◆FMの受信操作」（☞ 26ページ）の手順で登録したい放送局を選局します。**

**2 ［MENU］を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**3 「プリセット保存」を選択します。**

プリセット保存画面が表示されます。

**4 登録するチャンネルを選択します。**

登録を実行後、FM受信画面に戻ります。

### ◆登録した放送局を聞く

登録した放送局を聞くときは次の方法で呼び出します。

**1 FM受信画面で[MENU]を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**2 「プリセット呼出」を選択します。**

プリセット呼出画面が表示されます。

- FM受信画面で[▶II]を押しても、プリセット呼出画面が表示されます。

**3 登録した放送局(周波数)を選択します。**

受信局が切り替わって、FM受信画面に戻ります。

### ◆登録した放送局を削除する

登録されている放送局を削除します。

**1 FM受信画面で[MENU]を押します。**

メニュー画面が表示されます。

**2 「プリセット設定削除」を選択します。**

削除選択画面が表示されます。

**3 「削除」を選択します。**

削除チャンネル選択画面が表示されます。

**4 チャンネル(周波数)を選択します。**

削除実行後、FM受信画面に戻ります。

- 登録したすべての局を削除する場合は、上記手順3で「すべて削除」を選択してください。
- 上記手順3で「キャンセル」を選択すると、削除が中止されます。

## FM放送を録音・再生する

FM放送を録音して、後で聞くことができます。

FM放送を録音するときは、LINE IN端子には何も接続しないでください。

### ◆録音をする

**1 FM放送受信状態で[●]を押します。**

録音がスタートします。

- 録音の一時停止／再開は[▶II]で行います。
- 録音を停止するときは[■]を押します。

- 録音されたデータは「FM001.MP3、FM002.MP3…」と順番にファイル名が付けられて保存されます。
- 周囲の環境により雑音が入ることがあります。
- 大切な録音を行う前に、試し録音をして録音音質、録音レベルが適正か確認・設定を行ってください。録音レベルが適正に設定されていないと音がひずむことがあります。

### ◆再生をする

録音した放送を再生します。

ヘッドホンをヘッドホン端子に接続してください。

◎ファイル名を選んで再生させる

**1 FM受信画面で[A↔B]を押します。**
録音ファイルのリスト画面になります。

**2 再生したいファイルを選択します。**
選択した録音ファイルが再生されます。

◎以前再生していた録音ファイルから再生する

**1 FM受信画面で[A↔B]を押します。**
録音ファイルのリスト画面になります。

**2 [MENU]を押します。**
メニュー画面が表示されます。

**3 「リジューム再生」を選択します。**
以前再生していた録音ファイルが再生されます。

## ◆録音レベルを設定する

録音するときの録音レベル(音の大きさ)を「高」「中」「低」の3段階で切り替えることができます。

**1 FM受信画面で[MENU]を押します。**
メニュー画面が表示されます。

**2 「録音レベル」を選択します。**
録音レベル選択画面が表示されます。

**3 録音レベル(高、中、低)を選択します。**
FM受信画面に戻ります。

## ◆録音音質を設定する

録音するときの音質を「高」「中」「低」の3段階で切り替えることができます。
高音質に設定すると、音は良くなりますが録音できる時間が短くなります。

**1 FM受信画面で[MENU]を押します。**
メニュー画面が表示されます。

**2 「録音音質」を選択します。**
録音音質選択画面が表示されます。

**3 録音音質(高、中、低)を選択します。**
FM受信画面に戻ります。

**録音時の形式、音質は次のようになります。**
**録音形式：MP3、音質「高」：128kbps**
**音質「中」：112kbps、音質「低」：96kbps**

**参　考**
録音中にヘッドホンで聞こえる音量は、録音される音量とは異なります。録音音量を確認するときは、録音した音楽を再生して確認してください。

## ◆パソコンへ録音ファイルをバックアップする

本機内の録音データをパソコンにバックアップ(保存)するときは、本機をパソコンに接続し(☞38ページ)、「リムーバブルディスク」内の「FM」フォルダから、データをパソコン側へコピーしてください。

**パソコンへコピーしたファイルの日付けは、全て「2006/1/1 0:00」と表示されます。**

## その他の機能や設定

再生中には、次の機能を合わせて使うことができます。FM放送受信中は、これらの機能は働きません。

- **EQ：**
  再生時の音響効果を次のパターンから選ぶことができます。
  ノーマル　ジャズ　ロック
  クラシック　ポップ　バス
- **リピート(繰り返し再生)：**
  繰り返し再生の設定を行います。
  1曲　オフ
- **FMトランスミッター：**
  FM電波を送信して、FMラジオで録音した放送を聞くことができるFMトランスミッター機能(☞31ページ)を働かせるかどうかを設定します。
- **削除：**
  録音ファイルを削除します。(☞ 右記)

### ◎EQの設定

**1 録音ファイルのリスト画面や再生画面にし、MENU を押します。**
メニュー画面が表示されます。

**2 「EQ」を選択します。**
音響効果パターン選択画面が表示されます。
- 設定されている音響効果の左にチェックマーク(✓)がついています。

**3 音響効果パターンを選択します。**
リスト画面などに戻ります。

### ◎リピートの設定

**1 上記の「EQの設定」と同様の操作で「リピート」を選択して設定します。**

**1曲：** 再生させた録音ファイルを、停止させるまで繰り返し再生します。
**オフ：** リピート機能を解除します。

## 録音ファイルを削除する

収録されている録音ファイルを削除します。削除する単位は、1件ごと、すべての録音ファイルです。

**ご注意** 一度削除した録音ファイルを復元することはできませんのでご注意ください。

**1 録音ファイルのリスト画面で、削除したいファイルを選びます。**

**2 MENU を押し、「削除」を選択します。**
削除選択画面が表示されます。

**3 「削除」を選択します。**
選んだファイルの削除確認画面が表示されます。

**4 「はい」を選択します。**
削除が行われ、リスト作成が行われます。その後、リスト画面に戻ります。

- すべての録音ファイルを削除する場合は、上記手順3で「すべて削除」を選択してください。
- 上記手順3で「キャンセル」を選択すると、削除が中止されます。
- 録音ファイル再生中に削除の操作を行った場合は、上記手順3の操作はありません。

# FMトランスミッター機能を使う

本機に収録された音楽ファイルや音声ファイル、録音ファイルを再生するとき、FM電波でFMラジオなどのFM受信機に送信することができます。

## ◆FMトランスミッター機能を使うときのご注意

- 近くのFM受信機でしか受信できません。本機のFMトランスミッター機能は、無線局の免許を必要としない微弱電波を使用しています。微弱電波は、FM放送などの電波を妨害しないように、極めて低い出力で送信される電波ですので、極く近くでのみ受信できます。
- 付属のヘッドホンのコードがアンテナになります。
  必ず付属のヘッドホンを正しく接続し、コードをまっすぐ伸ばしてご使用ください。
  また、FM受信機とコード(アンテナ)の角度や位置、周囲の環境(近くに金属物や電化製品があるなど)によって受信状態が変わりますので、コードの位置や伸ばす方向などを変えてみてください。
- ご使用のFMラジオなどによっては、受信状態が良くないことがあります。
- 車載のFMラジオを使用する場合、車種によっては雑音が入ることがあります。

**ご注意** 本機能を利用して著作権の対象となっている著作物を他人に聴かせるために送信することは、著作権者などからの許諾を受けているなどの事情がない限りは、著作権を侵害する恐れがありますので、厳重にお控えください。

## 送信の操作

FMトランスミッター機能のオン／オフの設定は、音楽モード、ボイスレコーダーモード、FMラジオモードそれぞれで行います。

**1 送信を行うモードのリスト画面や再生中の画面にします。**

**音楽モード**：アルバムリストや曲リストの画面などや再生中の画面

**ボイスレコーダーモード**：音声ファイルのリスト画面や再生中の画面

**FMラジオモード**：録音ファイルのリスト画面や再生中の画面

**2 MENU を押します。**

「EQ」などを選択するメニュー画面が 表示されます。

**3 「FMトランスミッター」を選択します。**

オン／オフ選択画面が表示されます。

**4 「オン」を選択します。**

送信周波数選択画面が表示されます。87.7MHz、87.9MHz、88.1MHz、88.3MHz、88.5MHz、88.7MHz、88.9MHz から選択できます。

ご使用になる地域のFM放送と重ならない周波数を選択してください。

**5 送信周波数を選択します。**

リスト画面などに戻ります。

**6** **設定したモードで、音楽などを再生します。**
電波が送信されます。

**7** **FM受信機のFM受信周波数を、手順5で選択した周波数に合わせます。**
受信されることを確認してください。

**8** **受信状況により、受信状態が良くなるようにヘッドホンのコード(アンテナ)の位置や伸ばす方向を変えてみてください。**

### ◆音量を調整する

FM受信機の音量は、FM受信機のボリューム(音量調整)で調整できるほか、本機のボリューム(音量調整)でも調整できます。

**1** **FM受信機で、一般のFM放送を受信し、ボリュームを調整します。**

**2** **本機から音楽などを送信し、受信側で受信します。**

**3** **本機の Vol+、−Vol で、受信側の音量が一般のFM放送を受信したときと同じぐらいになるように調整します。**

> 本機のボリュームを上げすぎると音がひずむことがありますので、そのようなときは、音がひずまない程度に本機のボリュームを下げ、受信側で調整してください。

## FMトランスミッター機能ご使用上の参考

### ◎カーラジオで聞く場合

カーラジオは車種により、FMラジオの感度が大きく異なります。ご利用の車種で雑音が多かったり、受信できない場合は、下記の確認・対応をしてみてください。

1. 車種により、カーラジオのアンテナの位置が異なります。車の取扱説明書や、ディーラーにお問い合わせいただき、アンテナの位置を確認してください。
2. 本機にヘッドホンを接続してコードを伸ばし、カーラジオのアンテナに、平行になるようにして、できるだけ近くに置きます。(アンテナから遠いと受信状態が悪くなります)。
3. 本機からの電波をカーラジオで受信し、受信状態を確認します。

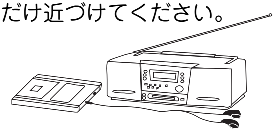
### ◎ラジカセなどオーディオ機器で聞く場合

オーディオ機器のFMラジオは、基本的に微弱電波を受信するようになっていませんので、遠く離れると受信できません。
本機にヘッドホンを接続し、オーディオ機器のアンテナのできるだけ近くに、ヘッドホンのコードを伸ばして置く必要があります。
また、FMラジオの機種によってはノイズ除去機能が働き、全く受信できない場合があります。この場合は、別のFMラジオでお試しください。

## ◆こんなときは

FMトランスミッター機能で送信した音楽などをFMラジオで受信したとき、雑音が多い、モノラルで受信されるなどの状況になる場合は、下記を確認してください。

- 本機のヘッドホン端子にきちんとヘッドホンが接続されていますか？
  ➡ ヘッドホンのコードがアンテナになるので、正しく接続しないと電波が送信されません。
- ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか？
  ➡ コードが丸まっていたり、折りたたまれていると、電波は弱くなります。
- ヘッドホンとオーディオ機器やカーラジオの位置関係は適切ですか？
  ➡ ヘッドホンとFMラジオのアンテナの方向は平行になるようにすると受信しやすくなります。また、距離はできるだけ近づけてください。



- FMトランスミッターの送信周波数やFMラジオの周波数は適切ですか？
  ➡ 送信周波数と受信周波数を合わせないと正しく受信できません。
  また、FM放送局に近い周波数を選択すると雑音が多くなることがあります。
  この場合は、送信/受信周波数を変えて、より影響の少ない周波数をお選びください。
  （本機は7種類の周波数が選択できます。）
- 本機のボリュームは適切ですか？
  ➡ FMトランスミッター機能で発信する音量は、本機のボリュームで調節できます。
  FMラジオで大きな音を出していないのに音が割れたり、歪んで聞こえる場合は、[– Vol] で本機のボリュームを下げてみてください。

# 各種設定について

本機の基本的な設定を変更することができます。

## ◆設定・確認できる項目

次の7項目の設定や確認ができます。

- **オートパワーオフ：**
  キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を設定することができます。（再生／録音中、FMラジオ受信中は除く）
- **スリープタイマー：**
  音楽やFM放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。
- **バックライトオフ：**
  表示部の点灯時間を変えることができます。
- **コントラスト：**
  表示部の濃度を調整することができます。
- **フェードインボリューム：**
  電源を入れて最初に音が出るときに徐々に音量を大きくすることができます。
- **設定の初期化：**
  各種設定や音楽プレーヤー、ボイスレコーダー、ＦＭラジオの設定を初期状態に戻すことができます。
- **製品情報：**
  製品のバージョン情報、メモリ使用状況、音楽ファイルの数を確認することができます。

## オートパワーオフ

キー操作がなかったとき自動的に電源が切れるまでの時間を設定できます。

再生や録音、FMラジオの受信中はオートパワーオフは働きません。

**1 モード選択画面で「設定」を選択します（ を選んで ▶II を押す）。**
**設定メニュー画面**が表示されます。

**2 「オートパワーオフ」を選択します。**
オフ時間選択画面が表示されます。
「オフ」、「1分」、「2分」、「3分」、「4分」「5分」の中から選択できます。

**3 時間を選択します。**
選択した時間に設定され、設定メニュー画面に戻ります。

## スリープタイマー

音楽やFM放送を聞きながら設定した時間で電源を切ることができます。

**1 設定メニュー画面で「スリープタイマー」を選択します。**

スリープ時間選択画面が表示されます。「オフ」、「30分」、「45分」、「60分」、「75分」、「90分」の中から選択できます。

**2 時間を選択します。**

スリープタイマーがスタートし、設定メニュー画面に戻ります。
選択した時間が経過すれば電源が切れます。

> 電源を切るとスリープタイマーの設定は「オフ」になります。

## バックライトオフ

バックライトの点灯時間を変えることができます。

**1 設定メニュー画面で「バックライトオフ」を選択します。**

バックライト点灯時間選択画面が表示されます。
「5秒」、「10秒」、「20秒」、「30秒」、「60秒」の中から選択できます。

**2 時間を選択します。**

時間が設定され、設定メニュー画面に戻ります。
バックライトが点灯してから、設定した時間が経過すれば消灯ます。

## コントラスト

表示部の濃度を調整します。

**1 設定メニュー画面で「コントラスト」を選択します。**

コントラスト（表示濃度）調整画面が表示されます。

**2 [Vol +]、[– Vol] で画面を見やすい濃さに調整して、[▶II] を押します。**

濃度が設定され、設定メニュー画面に戻ります。

[Vol +]：押すと濃くなります。
[– Vol]：押すと淡くなります。
押したままにすると連続的に濃度が変わります。

## フェードインボリューム

急に大音量が出て耳を痛めることを防ぐため、電源を入れて最初に音が出るときに徐々に音量を大きくする機能です。

**1 設定メニュー画面で「フェードインボリューム」を選択します。**

オン／オフ選択画面が表示されます。

**2 「オン」を選択します。**

フェードインボリュームが「オン」に設定され、設定メニュー画面に戻ります。

## 設定の初期化

各種設定や音楽プレーヤー、ボイスレコーダー、ＦＭラジオの設定項目を初期状態に戻すことができます。

**1 設定メニュー画面で「設定の初期化」を選択します。**

リセット選択画面が表示されます。

**2 「リセット」を選択します。**

設定が初期の状態に戻され、設定メニュー画面に戻ります。

## 製品情報

製品のバージョン情報、メモリ使用状況、音楽ファイルの数を確認することができます。

**1 設定メニュー画面で「製品情報」を選択します。**

製品情報が表示されます。

**2 [−Vol] で画面を送って内容を確認します。**

[▶II] を押すと設定メニュー画面に戻ります。

# パソコンと接続する

パソコンに本機を接続し、パソコンから音楽データを取り込んだり、本機で録音したデータをパソコンにバックアップすることができます。

## 必要なシステム構成

本機をパソコンに接続して、音楽データなどを取り込む(コピーする)ために必要なパソコンのシステム構成は次のとおりです。

対応機種：IBM PC/AT互換機
OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional
Microsoft® Windows® 2000
Microsoft® Windows® Millennium Edition
Microsoft® Windows® 98 Second Edition
その他：USBインタフェース、CD-ROMドライブ

OSがMicrosoft® Windows® 98 Second Edition の場合は、付属のCD-ROMに収録されている USB 対応ドライバーをインストールしてください。(☞ 42ページ)

## 音楽を本機に取り込む手順

CDなどの音楽を本機に取り込むための手順を説明します。

### ◆CDから音楽をパソコンに取り込む

Microsoft® Windows Media® Player 10 などを使って、音楽CDのデータをパソコンに取り込みます。

**1 パソコンでMicrosoft® Windows Media® Player 10を起動させます。**

**2 CDをパソコンに挿入します。**

**3 「取り込み」タブをクリックします。**

**4 取り込みたい曲を選択して「音楽の取り込み」ボタンをクリックします。**

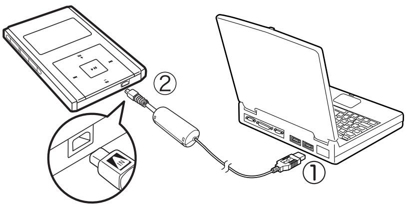
パソコンへの取り込みが開始されます。

- パソコンをインターネットに接続した状態で取り込みを行うと、アルバム名、アーティスト名、などを自動的に付けることができます。(ここで付けられたアルバム名などは、本機に取り込んだ時の分類に使用できます。)
インターネットに接続しない場合でも、取り込んだ曲に手動で曲名などを付けることができます。

- コピー防止機能を持ったCDは取り込むことができません。
- 著作権保護のため、CDの音楽データを取り込む際は複製を制限する設定を行ってください。
- 取り込みの方法や設定など詳しくは、Microsoft® Windows Media® Player 10のヘルプや市販の解説書などを参照してください。

## ◆本機をパソコンに接続する

パソコンが起動している状態で、付属のUSB対応ケーブルを図の ① ② の順番で本機とパソコンに接続します。（本機に差し込むときは、コネクタの「IN」と書いてある面を上に向けて差し込んでください。）
パソコンに接続すると本機の画面が **LINK!!画面**（接続中の画面）になります。




- USBコネクタが入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
- データ転送中（ReadingまたはWriting表示のとき）は、USBケーブルを抜かないでください。
- LINK!!画面になっているときは、本機のすべてのキーが働きません。

**パソコンから、本機の電池を充電する**

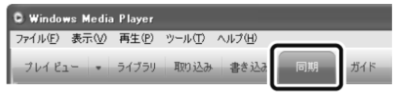
上記のように付属のUSB対応ケーブルでパソコンと本機を接続すると、パソコンから本機に電力が供給され、電池が充電されます。
ただし、パソコンによっては、充電できない場合があります。　本機の画面が充電中画面になるか確認してください。（☞8ページ）

## ◆メディアプレーヤーでデータを転送する

Microsoft® Windows Media® Player 10 の同期機能などを利用して、パソコンから本機へ音楽データを転送します。

**1** **パソコンでMicrosoft® Windows Media® Player 10を起動させます。**

**2** **[同期]タブをクリックします。**




**3** **「再生リストの編集」ボタンをクリックします。**
再生リストの編集画面が表示されます。

**4** **本機に転送したい音楽データを選択し、「OK」ボタンをクリックします。**

**5** **「同期の開始」ボタンをクリックします。**
選択した音楽データが本機に転送されます。

## ◆ファイルコピーの操作で　データなどをコピーする

本機をパソコンと接続すると、パソコンのUSB外部ドライブ(リムーバブルディスク)として認識され、パソコンから本機にファイル(データ)をコピーすることができます。

**1 本機をパソコンに接続します。**

**2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。**

**3 「リムーバブルディスク」をダブルクリックします。**

**4 必要なファイルを「リムーバブルディスク」の中にコピーします。**

- この方法で音楽データ(MP3など)をコピーすることができますが、**著作権を侵害する恐れがありますので、Microsoft® Windows Media® Player 10などをお使いになることをお勧めします。**
- ファイルはリムーバブルディスク直下(ルートフォルダ)にコピーし、LINE-IN、VOICE、FMフォルダにはコピーしないでください。フォルダ構成については、44ページを参照ください。
- 著作権保護がかけられているデータはファイルコピーの操作によりコピーを行っても再生できません。

## ◆本機をパソコンから取り外す

本機をパソコンから安全に取りはずすために、以下の手順を行います。

(Microsoft® Windows® XP Home Editionを例に説明しています。それ以外のOSをお使いの際は、操作が一部異なります。市販の解説書を参照してください。)

**1 パソコン上のタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをダブルクリックします。**




**2 本機に該当する「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリックし、[停止]ボタンをクリックします。**

**3 「USB 大容量記憶装置デバイス」をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。**

**4 [閉じる]ボタンをクリックします。**

パソコンから本機を取り外してください。

- パソコンから本機を取り外したときリスト作成中と表示され、使用できるまで数分かかることがあります。
- 本機からUSBコネクタを抜いたとき、ごく稀に本機の画面がLINK画面のままになることがあります。そのときは、本機の裏面にあるRESETスイッチをボールペンで押してから MODE を押し、電源を入れてください。

## Windows Media® Player ご使用時の注意

本機で音楽ファイルを再生する場合、音楽ファイルはすべて本機のルートフォルダにおく必要があります。

Windows Media® Player を使用して本機と同期させる場合には、プロパティにて、「デバイスにフォルダ階層を作成する」のチェックがはずれていることをご確認ください。 ここでは Windows Media® Player 10 を例に説明しています。

**1** **パソコン上でWindows Media® Player 10を起動し、同期する準備を整える。**

**2** **本機とパソコンをUSB対応ケーブルで接続し、Windows Media® Player 10に本機を認識させます。**

**3** **「同期」タブ画面にある「プロパティと設定を表示します」ボタンをクリックします。（☞図A）**

**4** **「デバイスにフォルダ階層を作成する」のチェックがはずれていることを確認してください。（☞図B）**

● もし、チェックが入っているときは、はずしてください。

**5** **「適用」ボタンをクリックして決定します。**

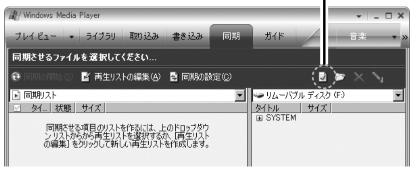
**6** **「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じます。**

左記の操作を行ったあと、同期を行って音楽ファイルを本機に転送してください。

**ご注意** 本機をフォーマットすると、はずしたチェックが再び入りますので、再度上記操作を行ってチェックをはずしてください。

**「プロパティと設定を表示します」ボタン**

（図A）




（図B）

**チェックがはずれていることを確認**




## CDの曲をPCへ取り込むときのご注意

歌詞情報を入力する音楽CDの曲を、パソコンへ取り込むときは、Windows Media® Player で音質を 160kbps 以下のビットレートに設定して取り込んでください。
詳しくは市販の解説書を参照してください。

# 付属プログラムのインストール

付属のCD-ROMに収録されているパソコンソフトのインストール方法を説明します。

## ◆収録ソフト

付属のCD-ROMには、次のソフトが収録されています。

- **USB対応ドライバ**（Microsoft® Windows® 98 Second Edition用）
- **歌詞編集ソフト**

## ◆歌詞編集ソフト使用に必要なシステム構成

対応機種：IBM PC/AT互換機
OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition
Microsoft® Windows® XP Professional
CPU：Intel® Pentium® Ⅱ 300MHz以上
HDD：20MB以上の空き容量
メモリ：128MB以上
ディスプレイ：SVGA（800X600ドット）以上、および、ハイカラー（65,536色）以上の解像度を持つカラーディスプレイ
その他：CD-ROMドライブ、マウス、サウンドカード・スピーカーなど音楽が聞ける装置
Microsoft® Windows Media® Player10以上
Adobe® Acrobat® Reader™ または Adobe ®Reader™

本ソフトウェアで編集を行うには、Microsoft® Windows Media® Player10 以上が必要です。

# 歌詞編集ソフトを使う

## ◆歌詞編集ソフトのインストール

歌詞編集ソフトは、本機で歌詞表示を行うために、音楽CDなどの音楽データに歌詞データおよび歌詞表示切り換えのタイミング時間を付加するためのソフトウェアです。（音楽CDに歌詞データは入っていません。）
歌詞を入力するデータは、160kbps以下のビットレートに設定されている必要があります。（☞40ページ）

**編集対象データ**：WMA形式の音楽データ
**動作可能OS**：左記のOS

**1 パソコンのCD-ROMドライブに付属のCD-ROMをセットします。**
自動的にプログラムが起動し、以下の画面が表示されます。



プログラムが自動的に起動しない場合は、エクスプローラからCD-ROMを開き「installer.exe」ファイルを実行してください。

**2 画面内の「歌詞編集ソフトのインストール」ボタンをクリックします。**

インストールが開始されます。

- 画面の指示にしたがってインストールを行ってください。
- インストールが完了したら「完了」をクリックします。

## ◆歌詞編集ソフトを起動する

インストールした歌詞編集ソフトを起動させます。

**1 パソコンのデスクトップに作られている「歌詞編集ソフト」アイコンをダブルクリックします。**




**2 表示されるダイアログボックスの内容を確認して[OK]をクリックします。**

歌詞編集ソフトが起動します。

> 本機で歌詞表示できる言語は、日本語(第1水準、第2水準)のみであり、韓国語やロシア語などの文字を利用して歌詞データを入力されても本機では正常に表示されませんのでご注意ください。

**◎歌詞編集ソフトのマニュアルを見る**

歌詞編集ソフトの使いかたは、付属のCD-ROMに収録されているマニュアル「歌詞編集ソフトの使いかた」をご覧ください。

- 歌詞編集ソフトのマニュアルは、スタートメニュー→すべてのプログラム→SHARP Digital Audio Player→マニュアルと選んで表示させます。マニュアルを見るにはAdobe® Acrobat® Reader™ (Adobe® Reader™)が必要です。必要に応じアドビシステムズ社のサイトよりダウンロードしてインストールしてください。

# USB対応ドライバをインストールする

Microsoft® Windows® 98 Second Editionをお使いの場合にのみインストールしてください。ほかのOSをご使用の場合はインストールしないでください。

## ◆ドライバのインストール

「歌詞編集ソフトのインストール」と同じ手順でインストールします。
手順2の「歌詞編集ソフトのインストール」ボタンをクリックする代わりに、「ドライバのインストール」ボタンをクリックしてください。

> インストールした後は、必要に応じてパソコンを再起動させてください。

# 参考にしてほしいこと

## 異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなど、ごくまれにすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。
このときは、本機の裏面にある**RESET**スイッチをボールペンなどで押して離したあと、MODE を押してください。

- RESETスイッチを押しただけでは、表示は変わりません。

## ご購入直後の状態（初期状態）に戻したいときは

パソコンで本機のメモリをフォーマットします。

メモリをフォーマットすると本機にあるすべてのデータが消去されます。設定も初期状態に戻ります。（40ページの「デバイスにフォルダ階層を作成する」設定のチェックも再び入ります。）

**1** **本機とパソコンを接続します。**

**2** **「マイ　コンピュータ」をダブルクリックします。**

**3** **本機に該当する「リムーバブル ディスク」を右クリックし、「フォーマット」を選びます。**

**4** **「ファイルシステム」の「FAT32」を選び、「開始」をクリックします。**

- 「FAT32」以外は選ばないでください。
- Windows® 98 second edition および Windows® Millennium Edition では、「ファイルシステム」の「FAT32」は、表示されません。そのまま「開始」をクリックしてください。

**5** **「閉じる」ボタンをクリックします。**

**6** **本機をパソコンから取りはずします。**

**ご注意** フォーマットの対象が本機であることをよく確認してから実行してください。
誤って、他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なファイルを消すことになりますのでご注意ください。

## 充電池について

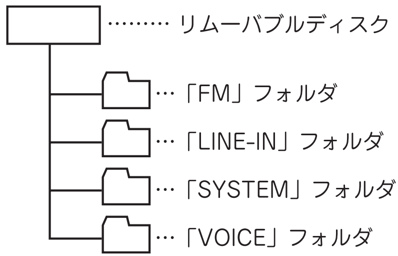
充電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります(常温で約350回が目安です)。
充電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なります。
満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、充電池の寿命ですので交換してください。この製品の充電池はお客様では交換できませんので、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へお申し付けください。
充電池の交換は有償となります。

**廃棄するときのお願い**

この製品に使用しているリチウムポリマー充電池は、リサイクル可能で貴重な資源です。この製品の廃棄に際しては、もよりのサービス会社へお申し付けください。

## パソコン接続時のフォルダ構成について

本機をパソコンに接続すると、Windows上では、下記のようなフォルダがあらかじめ保存されたリムーバブルディスクとして見えます。




- 「FM」、「LINE-IN」、「VOICE」フォルダは、それぞれFM録音、ダイレクト(LINE-IN)録音、ボイスレコーダー機能で録音を行ったときに自動的に作成されます。

  リムーバブルディスクおよび、上記のフォルダ内に、新たなフォルダを作ったり、名前を変更したりしないでください。

# 音楽配信サイトからの音楽の購入について

本機は、音楽配信サイトから購入した音楽データを取り込んで、聞くことができます。

音楽配信サイトから音楽データを購入される際は、次の事項にご注意ください。

- WMA形式の音楽ファイルを配信しているサイトをご利用ください。
- WMA形式以外で配信されている音楽データは、本機では再生できません。（WMA形式以外で配信されている音楽データを、WMA形式に変換することもできません。）

なお、音楽配信サイトからの購入方法やダウンロードのしかたなどは、音楽配信サイトの情報を参照ください。

購入した音楽データを本機で聞くためには、Microsoft® Windows Media® Player10などを利用して、本機へ音楽データをコピーします。

**1** **パソコンで、Microsoft® Windows Media® Player10を起動します。**

**2** **[ライブラリ]タブをクリックします。**

**3** **画面右下の[ライブラリの追加]をクリックし、表示されるメニューから[ファイルまたは再生リストを追加]を選択します。**

**4** **購入した音楽データを指定して、[開く]をクリックします。**

**5** **データを本機にコピーします。**
（☞ 38ページ）

# 仕　様

## 本体

| 形名 | MP-A300 | MP-A200 | MP-A100 |
|---|---|---|---|
| 品名 | デジタルオーディオプレーヤー | | |
| 内蔵メモリ | 1GB<br>(ユーザー領域：987MB) | 512MB<br>(ユーザー領域：486MB) | 256MB<br>(ユーザー領域：235MB) |
| 充電時間 | 約4時間(ACアダプター使用時) | | |
| 入出力端子 | ヘッドホン(φ2.5)　LINE IN端子(φ2.5)　専用ミニUSB端子 | | |
| 対応ファイル | ファイル形式WMA、MP3 | | |
| 録音可能ファイル数 | 最大400※1 | 最大290※1 | |
| 再生時間 | 最大約20時間連続再生可能(再生条件　MP3ファイル、音量：15、バックライト：オフ、FMトランスミッター：オフ、EQ：ノーマル、使用温度25℃)<br>※ FMトランスミッター：オン時の再生時間は、最大約5時間です。<br>※ 使用環境や使用方法により、再生時間が短くなることがあります。 | | |
| 最大録音時間※2 | 約20時間<br>(録音条件 録音音質：低(96kbps)) | 約10時間<br>(録音条件 録音音質：低(96kbps)) | 約5時間<br>(録音条件 録音音質：低(96kbps)) |
| 使用温度 | 0℃〜40℃ | | |
| 最大出力 | 5mW | | |
| FMチューナー | 周波数範囲76.0〜90.0MHz | | |
| FMトランスミッター送信可能周波数 | 87.7MHz/87.9MHz/88.1MHz/88.3MHz/88.5MHz/88.7MHz/88.9MHz | | |
| 使用電源 | リチウムポリマー内蔵充電池(約580mAh) | | |
| 消費電力 | 2.4W | | |
| 外形寸法 | 幅54mm×高さ85.6mm×厚さ9.4mm | | |
| 質量 | 約70g | | |

※1：音楽ファイル、録音ファイルの合計。
ファイルサイズが大きいときは、これらのファイル数より先にメモリが一杯になることがあります。

※2：連続して録音する場合、途中で充電をする必要があります。

### ACアダプター(EA-74)

| | |
|---|---|
| 入力 | AC100V 50/60Hz |
| 定格出力 | DC5V、600mA |

### 付属ケーブル

| | |
|---|---|
| USB対応ケーブル | 約145cm |
| Line-inケーブル | 約145cm |
| プラグ変換ケーブル | 約11cm |
| ヘッドホン | 約145cm |

### 各モードのステレオ／モノラル録音について

| | 音楽(LINE-IN) | ボイスレコーダー | FMラジオ |
|---|---|---|---|
| 録音チャンネル | ステレオ録音※1 | モノラル録音 | ステレオ録音※2 |

※1 外部音源がステレオ録音されているときのみ
※2 受信するFM放送がステレオ放送で、本機をステレオ受信に設定しているときのみ

### 各モードの録音初期設定値

| | 音楽(LINE-IN) | ボイスレコーダー | FMラジオ |
|---|---|---|---|
| 録音音質 | 高 | 中 | 高 |
| 録音レベル | 中 | 中 | 中 |
| ステレオ/モノラル受信 | ー | ー | ステレオ |

### 録音音質と録音時間について

| 録音音質 | 高(128kbps) | 中(112kbps) | 低(96kbps) |
|---|---|---|---|
| MP-A100 | 約3時間45分 | 約4時間15分 | 約5時間 |
| MP-A200 | 約7時間30分 | 約8時間30分 | 約10時間 |
| MP-A300 | 約15時間 | 約17時間 | 約20時間 |

- サポートページではさまざまな情報を掲載しています。下記URLにアクセスしていただきご確認ください。
  http://www.sharp.co.jp/support/mp/index.html
- ファームウェアのバージョンアップについて
  ファームウェアをバージョンアップすることで本機の機能を改善できることがあります。最新の情報がないか上記のサポートページをご確認ください。

# メ　モ

# アフターサービスについて

## 保証について

1. **この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。**
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. **保証期間は、お買いあげの日から1年間です。**
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. **保証期間後の修理は…**
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間

- 当社はデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品を製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品をのうえ、修理をお申しつけください。ご自分での修理はしないでください。
2. アフターサービスについてわからないことは･･･
   お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

## お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております.

# 故障かな？と思ったら

次のような場合は故障ではないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、49ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

| こんなときは | ここをお確かめください |
|---|---|
| **電源が入らない** | ●充電されていますか？<br>充電してから電源を入れてください。（8ページ） |
| **キーを押しても動作しない** | ●本機の「ホールド」キーがホールド側になっていませんか？ |
| **音が出ない** | ●ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？<br>●ヘッドホンをLINE IN端子に接続していませんか？<br>●音量が最小になっていませんか？<br>●転送したデータのファイル形式は正しいですか？（14ページ）<br>●著作権違反のデータではありませんか？<br>曲の入手元、本機への転送手段を確認してください。（37ページ） |
| **歌詞表示が正しくない／表示しない** | ●歌詞データの形式は正しいですか？（41ページ）<br>●転送元の音楽ファイルのビットレートは適切ですか？<br>160kbps以上の場合、再変換されてから転送されることがあり、歌詞が正しく表示されない場合があります。（40ページ） |
| **録音できない** | ●本機のメモリ容量が不足状態になっていませんか？<br>不要なデータを削除してください。 |
| **FM放送を受信しにくい** | ●ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？<br>●ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか？<br>●FM放送を妨害するような電波を発生するもの（電気機器）が近くにありませんか？<br>●FM放送を遮断するような障害物がありませんか？<br>アンテナ（ヘッドホン）の方向を変えてみてください。 |
| **FMトランスミッターで送信できない** | ●ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？<br>●ヘッドホンのコードは伸ばして置かれていますか？ |

| こんなときは | ここをお確かめください |
|---|---|
| FMトランスミッターで送信できない | ● ヘッドホンとラジオの位置は適切ですか？<br>ヘッドホンとラジオのアンテナの方向を平行にし、近づけてください。<br>● FMトランスミッターの設定が「オン」になっていますか？<br>● 妨害電波を発生するものが近くにありませんか？<br>● 本機の音量は適切になっていますか？<br>● FM電波を遮断するような障害物がありませんか？<br>アンテナ（ヘッドホン）の方向を変えてみてください。<br>● 本機のFMトランスミッターでの送信レベルは、電波法で規定された微弱電波になっています。受信しているラジオを、より感度の高いものに変えてみてください。<br>また本機とラジオは、できるだけ近づけてください。<br>● FMラジオのノイズ除去機能が働いていませんか？<br>別のFMラジオで試してみてください。<br>● FM放送局に近い周波数を選んでいませんか？<br>送信/受信周波数を変えて、影響の少ない周波数を選んでください。 |
| FMトランスミッターで送信時にノイズ音が発生する | ● ヘッドホンのプラグが奥まで差し込まれていますか？<br>● FM電波を妨害するような電波発生機器や電波を遮断するようなものがありませんか？<br>アンテナ（ヘッドホン）の方向を変えてみてください。<br>● 金属に近づけたり、金属の机の上に置いていませんか？ |
| Microsoft® Windows Media® Player10で音楽ファイルが同期できない | ● 付属のUSB対応ケーブルが正しく接続されていますか？<br>● パソコン側でMicrosoft® Windows Media® Player 10 が正しく動作して、本機を認識していますか？<br>パソコンを再起動し、本機を接続してみてください。<br>Microsoft® Windows Media® Player10 が正しくインストールできているか確認してください。<br>● 本機のメモリが不足していませんか？<br>本体の不要な曲を削除してください。 |

| こんなときは | ここをお確かめください |
| --- | --- |
| FMトランスミッターで送信時に音がきこえない／音が歪む | ● 本機の音量が小さい／大きい可能性があります。 |
| ファイルを正常に再生できない | ● パソコンに接続しメモリをフォーマットしてください。（43ページ）<br>● Microsoft® Windows Media® Player10 で、同期せずにコピーしていませんか？<br>同期していないと、著作権保護されているファイルは、再生されません。 |
| 「フォルダ数が本機で扱える制限を超えているため、全て表示できません」というメッセージが表示される | ● Microsoft® Windows Media® Player10で、音楽データ同期後に表示された場合は、「Windows Media ® Player10ご使用時の注意」をご覧ください。（40ページ）<br>本機をフォーマットした場合、「デバイスにフォルダ階層を作成する」設定のチェックが、再度入りますのでチェックを外してください。<br>● ファイルのコピー操作などを行ったあとに、表示された場合は、フォルダ数が制限を超えています。フォルダを削除してください。<br>フォルダ数の制限値：MP-A100　40個<br>MP-A200　40個<br>MP-A300　7個<br>以上の制限値を超えるとエラーになります。 |
| 外部機器から録音すると、音が小さい／歪む | ● 音が小さい場合や、大きすぎて音がひずむ場合は、本機の録音レベルを調整してみてください。（19ページ）<br>● それでも適正な録音ができないときは、外部機器のヘッドホン端子など、他の出力端子を使用してみてください。　また外部機器の音の大きさを少し小さめに調節してみてください。 |
| 外部マイクで録音したとき音が小さい | ● 録音レベルを「高」に設定してみてください。<br>● 電池内蔵式のアンプ内蔵式マイクを使用してください。 |
| パソコンに本機を接続しても認識されない | ● 一度外して、再度接続してみてください。 |

# 保証書（保証規定）

本書は、本書記載内容で無料修理をさせていただくことをお約束するものです。保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買いあげの販売店にご依頼ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認いただき、記入のない場合はお買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居・ご贈答品でお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、製品に同梱しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧のうえ、もよりのサービス会社へご持参、またはお送りください。本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

**〈無料修理規定〉**

1. 取扱説明書・本体注意ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買いあげ販売店、または当社サービス会社が無料修理いたします。ただし、郵送いただく場合の郵送料金・梱包費用などはお客様のご負担となります。
   なお、故障の内容によりまして、修理にかえ同等製品と交換させていただくことがあります。
2. 保証期間内でも、次の場合は有料修理となります。
   (イ) 本書のご提示がない場合。
   (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
   (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
   (ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
   (ホ) 火災・公害・地震および風水害その他天災地変など、外部に要因がある故障・損傷。
   (ヘ) 電池の液もれによる故障・損傷。
   (ト) 消耗品(充電池)が損耗し取り替えを要する場合。
   (チ) 持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理などを行った場合、出張料はお客様のご負担となります。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   (THIS WARRANTY CARD IS ONLY VALID FOR SERVICE IN JAPAN.)

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがいましてこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきまして、おわかりにならない場合はお買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

**〈郵送についてのお願い〉**

郵送される場合には次のことをご注意ください。

1. 保証期間中であるときは、本書を製品に同梱ください。
2. 製品は緩衝材に包んでボール箱に入れるか、または郵送用の袋(メールパック：文具店などでお求めいただけます)などに入れ、輸送中の損傷を防ぐようご配慮ください。
3. 紛失などを防ぐため、簡易書留をご利用ください。

修理メモ

| ● 製品についてのお問い合わせは･･ | | |
|---|---|---|
| **お客様相談センター** | 東日本相談室 | TEL **043-299-8021**<br>FAX **043-299-8280** |
| | 西日本相談室 | TEL **06-6794-8021**<br>FAX **06-6792-5993** |

《受付時間》月曜～土曜：午前9時～午後6時
日曜･祝日　：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

| ● 修理のご相談は･･ | 製品に付属の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。 |
|---|---|
| ● シャープホームページ | http://www.sharp.co.jp/ |

**シャープ株式会社**


本　　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492



PRINTED IN CHINA
05G (TINSJ0862EHZZ)